

令和 4 年 5 月 9 日現在

機関番号：11601

研究種目：若手研究(B)

研究期間：2017～2021

課題番号：17K17617

研究課題名(和文) 明治大正期の町村役場文書のデジタルデータの作成と公開に関する研究

研究課題名(英文) The research of publishing and making of digital photo data of the documents of town and village office in meiji and taisyou era.

研究代表者

徳竹 剛 (tokutake, tsuyoshi)

福島大学・行政政策学類・准教授

研究者番号：80625658

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 1,900,000円

研究成果の概要(和文)：明治・大正時代の福島県浜通り地方の町村役場文書の件名目録と画像データを作成した。目録の総件数は4506件、画像データの総枚数は1万362枚である。町村役場文書の内容は、当該地域の人々の暮らしに密着したものであり、当該文書を読むことによって、明治大正期の町村行政の内実が把握できるとともに、福島県浜通り地方の人々の様子をつかがい知ることができる。件名目録と画像データが作成されたことにより、今後、この文書を用いた研究に着手することが可能となった。

研究成果の学術的意義や社会的意義

町村役場文書が歴史資料として有用であることは、これまで近代地域史研究や自治体史編纂において活用されてきたことから明らかであるが、1950年代の昭和の大合併における役場の統廃合などを契機に廃棄されてしまったものも多く、その残存状況は決して良いとはいえない。加えて、福島県浜通り地方は、東日本大震災によって多くの資料が散逸し、地域の歴史を解明することが難しくなっている。本研究によって作成された福島県浜通り地方の町村役場文書の件名目録と画像データの作成は、日本の近代史の解明、福島県浜通り地方の歴史の解明に資するところが大きい。

研究成果の概要(英文)：I made digital photo datas and lists of the documents of town and village office at HAMADOURI Fukushima prefecture in Meiji and Taisyou era. The total number of lists of the documents is 4506. The total number of digital photo datas is 10362. By reading this documents, you can understand town and village office works and the people of HAMADOURI Fukushima prefecture are doing in Meiji and Taisyou era. The lists and digital photo datas had been made, you can use this documents for reseach.

研究分野：日本史

キーワード：歴史資料

1. 研究開始当初の背景

近年、国立公文書館のデジタルアーカイブや国立国会図書館のデジタルコレクションなど、Web 上での画像データの公開が進んだことによって、歴史資料の閲覧環境は飛躍的によくなっている。史料保存機関に出向く必要が少なくなることで、居住地による研究環境の格差が埋められるとするならば、歓迎すべき状況といっていだろう。

一方で、地方の文書館等における史料のデジタル化やデジタルデータの公開は進んでいるとはいえない。その理由は様々であろうが、その一つはサーバーの維持管理であろう。Web 上に公開するためには、データを保存し公開するためのサーバーが必要であり、その運用には一定の知識と年中無休での維持管理が求められる。また日頃からセキュリティを維持したり、OS のバージョンアップに対応したりと、運用上の技術的ハードルも高い。この他、史料のデジタル化を行うためには一定の技術が必要であり手間も掛かる。また、Web 上に公開する際には、個人情報について特に慎重に取り扱わなければならない。このように、Web 公開するには幾重もの障壁を越えなければならず、小規模な文書館等にとっては大きな負担である。

しかし、インターネットが広範に普及している現在において、地方の文書館も Web 公開を始めれば研究環境は一層向上する。近世・近代史研究において、その意義は極めて大きいといっていだろう。そこで本研究では、小規模な組織でもできるような歴史資料の Web 公開の方法を考案し、そのモデルケースを提示したいと考えた。

この研究を行うにあたって、具体的に検討対象とした史料は、福島大学の附属図書館所蔵の福島県双葉郡の町村役場文書である。これは、1889(明治 22)年から 1923(大正 12)年にかけてのもので、全 27 冊(大堀村<現・浪江町>10 冊、久之浜村<現・いわき市>16 冊、長塚村<現・双葉町>1 冊)からなる。

町村役場文書が歴史資料として有用であることは、これまで近代地域史研究や自治体史編纂において活用されてきたことから明らかであるが、1950 年代の昭和の大合併における役場の統廃合などを契機に廃棄されてしまったものも多く、その残存状況は決して良いとはいえない。現在も残る町村役場文書は、後継自治体に継承されていることが多いが、文書館を持たない自治体が大半を占めているために、公開体制が整っているケースはまれである。

したがって、福島大学附属図書館にある町村役場文書が貴重なものであること明らかであるが、附属図書館で公開している書誌情報は、タイトルに「福島県史料」と書いてあるのみであり、それ以上の情報はない。閲覧してみても初めて、当該資料が、明治・大正期の福島県浜通り地方の町村役場文書であることが分かるのであり、事実上、死蔵状態となっている。

東日本大震災で大きな被害を受け、故郷を失った人々が数多くいる福島県浜通り地方では、地域の歴史に対する関心が高まっている。しかし、震災によって多くの資料が散逸してしまい、歴史を明らかにする材料が限られている。当該資料は浜通り地方の歴史を解明するうえで重要な資料となり得るものでもある。

2. 研究の目的

上記の背景をふまえ、当該資料の件名目録を作成して資料内容を具体的に分かるようにするとともに、画像データを作成して Web 上でも閲覧可能な状態とし、広く調査研究に使えるような環境を整備することを目指した。Web 公開の方法も、小規模な組織でもできるような簡便な方法を追求することとした。

3. 研究の方法

件名目録は、件名・差出・宛名・作成年月日・記載内容のデータを採録した。画像データの作成はデジタルカメラを用いて全ページ撮影を行った。Web 公開の方法については、論文や報告書等を検討し、日々変化していく状況把握に努めた。

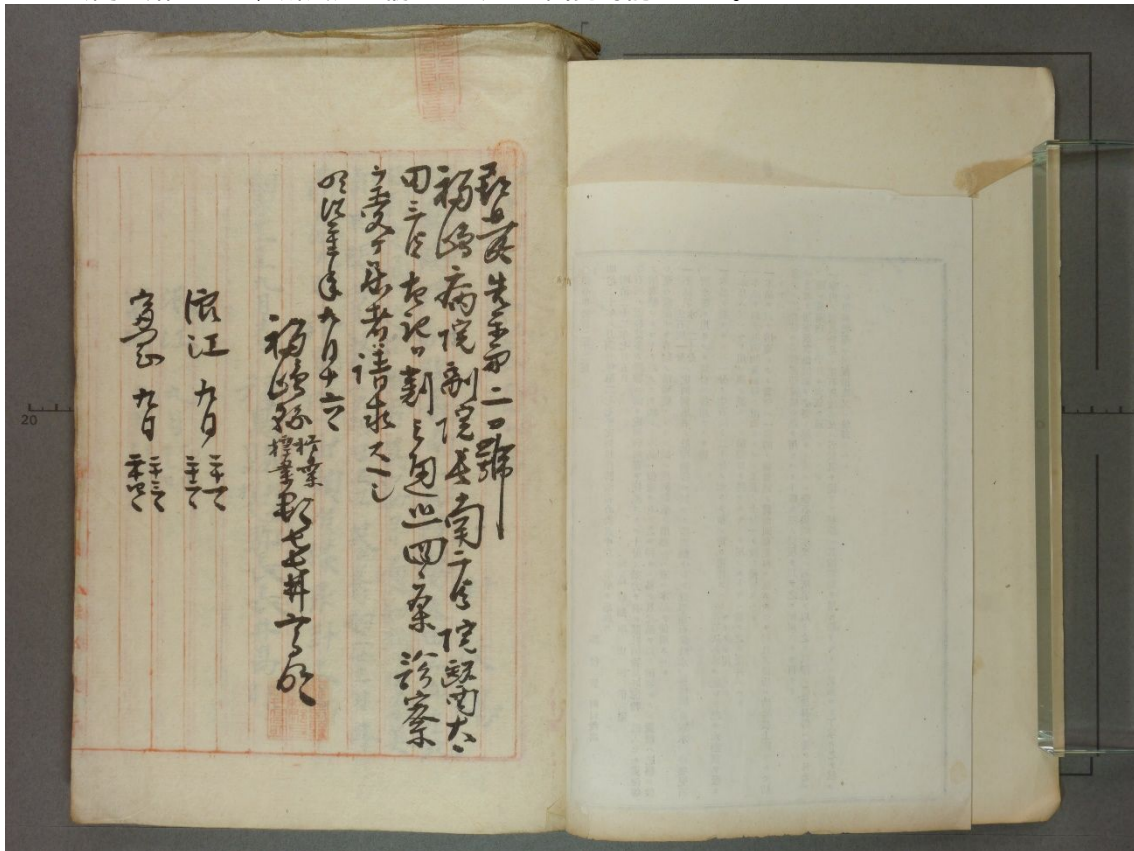
4. 研究成果

作成した件名目録の総件数は 4506 件、画像データの総枚数は 1 万 362 枚である。これらのデータを作成できたことにより、死蔵状態にあった当該資料の利用の可能性を大幅に拡大することができた。

Web 公開の方法については、当該資料を所蔵する福島大学附属図書館でデジタルデータの公開を検討中であったことから、本研究で作成した件名目録や画像データを附属図書館に提供し、附属図書館の Web サイトで公開する方法を選択することとなった。公的機関におけるデジタルデータの公開は、研究計画立案当時からさらに飛躍的に向上し、クラウドサービス等、データを保管し共有するサービスも拡大している。自前でサーバーを管理するのではなく、クラウドサービスを利用することもできるであろうし、国立歴史博物館の khirin (総合史料学情報基盤システム

ム)が登場したことで、小規模な組織でも khirin と提携することを通じてデジタルデータを公開することができるようになった。このような現状および研究環境の変化を考慮し、本研究を通じて歴史資料の Web 公開の方法を考案し、そのモデルケースを提示するということの必要性はなくなったと判断し、詳細な史料データの作成と、閲覧しやすい画像データの作成に専念することとした。

作成した画像データを例示すると以下の通りである。全ページ撮影したので、画像データの Web 公開が始まれば、所蔵先を訪れなくても閲覧可能となる。



また、作成した件名目録の一部を例示すると以下の通りである。27 冊のファイルは 4506 件の資料となった。

番号	件名	作成年	西暦	差出	宛名	記載内容	備考
1	[虎列拉予防消毒心得書事項追加ノ件]	明治 22 年 7 月 5 日	18890705	福島県知事	郡役所 町村役場	生石灰を用いたコレラ病予防消毒の説明	文書番号訓令甲第 122 号
2	[福島病院副院長院医巡回診察ノ件]	明治 22 年 9 月 16 日	18890916	福島県檜葉標葉郡長		福島病院副院長及び病院医師の巡回診察日程の通知	文書番号郡 ■ 所告示第 20 号
3	[福島病院副院長院医巡回二付開業医診察所出頭ノ件]	明治 22 年 9 月 16 日	18890916	福島県檜葉標葉郡長	村役場	福島病院副院長及び病院医師の巡回につき部内開業医の参集を求める通知	文書番号郡役所訓令甲第 42 号
4	[演劇場及遊観場取締二関スル願届人民ニ対スル徴税取締二関スル件]	明治 22 年 10 月 31 日	18891031	檜葉標葉郡書記	大堀村長	演劇場等で興行許可を得た者への徴税取締りに関する通知	文書番号なし
5	[衛生表調製差出ノ件]	明治 22 年 9 月 11 日	18890911	福島県檜葉標葉郡長	村役場	衛生表の書式制定につきその作成及び提出を求める通知	文書番号郡役所訓令甲第 41 号
6	[秋季種痘ノ件]	明治 22 年 11 月 4 日	18891104	福島県檜葉標葉郡長	大堀村役場	秋季種痘の実施日時及び接種普及に関する通知	文書番号郡役所訓令甲第 45 号
7	[秋季種痘人員表進達ノ件]	明治 22 年 11 月 4 日	18891104	檜葉標葉郡役所第一課	大堀村役場	秋季種痘人員表の提出を求める通知	文書番号一往第 426 号

この件名目録と画像データの公開により、日本近代史の研究に新たな資料を提供することができるようになる。とりわけ、当該資料が福島県浜通り地方のものであることから、この地域の人々がいかんして生きてきたのかということについて解明する手がかりとなるのであり、震災によって失われたものを復元することにもつながる。日本の近代史、浜通り地方の近代史の解明に資することができるデータを作成することができたと言え、広く活用してもらうことで新たな知見が生み出されることが期待される。

5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計0件

〔学会発表〕 計0件

〔図書〕 計0件

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
--	---------------------------	-----------------------	----

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関
---------	---------